

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【公開番号】特開 2015-21898 (P2015-21898A)  
 【公開日】平成 27 年 2 月 2 日 (2015.2.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-007  
 【出願番号】特願 2013-151933 (P2013-151933)  
 【国際特許分類】

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T	1/20	L
G 0 1 T	1/20	E
G 0 1 T	1/20	G
G 0 1 T	1/20	D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 28 年 6 月 28 日 (2016.6.28)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 6 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 6 5】

ここで、紫外線硬化型の接着剤が、ラジカル重合型である場合には、その硬化現象に停止反応があるため、紫外線が照射された部分のみが硬化することになる。これに対して、紫外線硬化型の接着剤が、カチオン重合型の場合には、硬化現象の停止反応が無い場合、紫外線が照射された部分の架橋硬化反応が周辺部にも伝搬して、硬化反応が行きわたる。すなわち、制御ライン 2 c 1 やデータライン 2 c 2 などの影になる部分の硬化反応も生じさせることができる。そのため、封止品質のより高い側面防湿層 8 を形成することができる。

カチオン重合型の紫外線硬化型のエポキシ系の接着剤としては、例えば、ナガセケムテックス（株） X N R - 5 5 1 6 Z H V - B 1 などを例示することができる。